

結婚相談などのソフト事業が重点

一般会計は2億2339万円を補正

9月14日に行われた定例町議会で、平成2年度の補正予算が可決されました。今回の補正予算は、結婚相談などを始めとするソフト事業に重点が置かれました。そこで、各課ごとにどのような事業を盛り込んだのかを紹介します。

どうなのか、というような検討を委託するものです。
(事業費1,100万円)

総務課

水銀灯10基を設置

通学道路に指定されている、芝崎区から虫生区への県道(通称ふきまわし)約1kmに、防犯対策として水銀灯10基を設置します。
(事業費51万円)

また、他の通学道路、例えば光スクールラインへの水銀灯設置も検討しています。

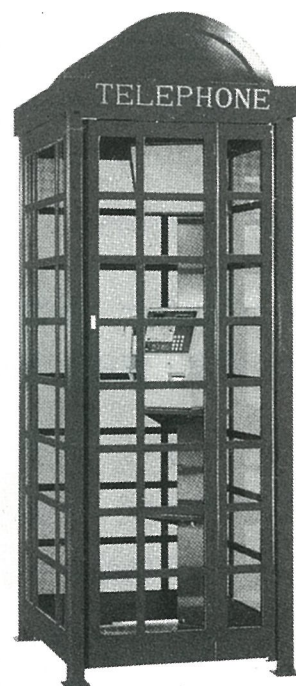
ロビーと役場前広場に、それぞれオリジナルのテレフォンボックスを設置します。
(事業費200万円)

民課

高年齢者対策 懇話会を設置

これからの高齢化社会に対応するため、高年齢者対策懇話会を設置し、お年寄りのいきがい対策などの検討を重ねていきます。
(事業費28万円)

また、故小川一朗氏(長塚)と、鈴木純氏(台)から福祉目的の寄付金をいただいております。



こんなテレフォンボックスを設置？

画課 企財政

将来構想 策定を委託

土屋隆氏(虫生)と株式会社ジツカワからいただいた寄付金によって、役場庁舎内の



水銀灯を設置する県道

建設課

主要町道に 花壇を設置

現在新築している東陽病院の入口道路の改良工事を中心に、排水整備工事や舗装修繕工事などを盛り込んだ補正予算となっています。

また、しおさい道路と光ス

教育課

代本板を配付

株式会社畔蒜工務店から寄付のあった1,000万円を、教育振興基金として積立しています。これにより、教育振興基金は総額5,000万円となります。

また、子供たちの読書意欲の向上を図るため、全小学生